

# チームビルディング研修

## 1. 研修の目的

チームを機能させ、組織目標の達成レベルを上げる。

対象者：全職員

## 2. 研修の全体像

研修のゴールの共有（目的の共有）



理想的なチームとは何か  
～こんなチームであれば、一員になりたい～



相手を気遣い、同時に、気遣われていることを知る

1. 気遣いとはどのようなことを指すのか、具体的に知る
2. 相手の気遣いを目に見えろとは限らない。隠された意図を知る

目的、目標、手段の明確化と、それに対するチーム全員の納得を得た上での共有

1. 建設的かつ良好な人間関係を構築するコミュニケーションの取り方を知る
2. 目的、目標、手段の違いを明確に理解する
3. 納得感のない目的、目標、手段には、誰もついてこないことを知る

客観的分析結果に基づくチーム全体での定期的現状確認と行動計画立案

1. 知識技術レベルの測定について、外部機関を活用できそうなら活用する
2. 行動計画立案の際には、ある程度の全員の納得が得られるような進め方を行う



自分を変える



相手が変わる



チーム全体が変わり、一丸となり目標達成を成し遂げる

### 3. 研修内容

	内 容	
<p>9:00</p> <p>16:30</p>	<p><b>1. 理想的なチームとは何か</b></p> <p>～こんなチームであれば、一員になりたい～</p> <hr/> <p><b>2. 理想のチームを構成するためには、何が必要なのか</b></p> <p>1) 相手を気遣い、同時に、 気遣われていることを知る</p> <p>① 気遣いとはどのようなことを指すのか、 具体的に知る</p> <p>② 相手の気遣いは目に見えるとは限らない。 隠された意図を知る</p> <p>2) 目的、目標、手段の明確化と、それに対する チーム全員の納得を得た上での共有</p> <p>① 建設的かつ良好な人間関係を構築する コミュニケーションの取り方を知る</p> <p>② 目的、目標、手段の違いを明確に理解する</p> <p>③ 納得感のない目的、目標、手段には、誰も ついてこないことを知る</p> <p>3) 客観的分析結果に基づくチーム全体での 定期的現状確認と行動計画立案</p> <p>① 知識技術レベルの測定について、 外部機関を活用できそうなら活用する</p> <p>② 行動計画立案の際には、ある程度の 全員の納得が得られるような進め方を行う</p> <hr/> <p><b>3. 質疑応答</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「理想的なチームとは何か ～こんなチームであれば、一員になりたい～」 上記をテーマに、そのイメージをグループワークで 具現化します。その結論と座学で学習する項目を リンクさせることで、参加者の主体性を醸成します。</li> <hr/> <li>• 理想のチームを構成するためには、何が必要なのか、 座学と事例研究を通して学習します。</li> <li>• 理想のチームを作るためには、すべて、自分を変える ことから始まることを知ります。</li> <li>• コミュニケーションの取り方、合意形成の方法、外部 機関の診断結果による正確な現状レベルを受け入れ る謙虚さなど、当テーマはヒトの本質に関わります。</li> <li>• 自分を変えるか、相手が変わるまで永遠と待つか 考え、自分を変えたいのであれば、そのきっかけを 当研修でお渡しすることが出来ます。</li> </ul>